

# JIS

## パルプーろ水度試験方法ー 第2部：カナダ標準ろ水度法

JIS P 8121-2 : 2012

(JAPAN TAPPI/JSA)

平成 24 年 6 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 紙・パルプ技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	岡 山 隆 之	東京農工大学
(委員)	江 前 敏 晴	東京大学
	大久保 友 恵	レンゴー株式会社
	大 場 悟	全国クラフト紙袋工業組合
	熊 谷 泰	熊谷理機工業株式会社
	斎 藤 芳 廣	北越紀州製紙株式会社
	桜 田 裕 之	日本大昭和板紙株式会社
	佐 藤 達 也	三菱製紙株式会社
	鈴 木 由紀子	王子製紙株式会社
	関 順 子	日本製紙株式会社
	外 口 裕 章	株式会社東洋精機製作所
	中 川 好 明	日本製紙連合会
	中 村 亜希子	株式会社日本紙パルプ研究所
	生 原 道 夫	大日本印刷株式会社
	浜 村 政 博	日本紙パック株式会社
	広 岡 克 己	株式会社小学館
	宮 西 孝 則	紙パルプ技術協会

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 24.6.20

官 報 公 示：平成 24.6.20

原 案 作 成 者：紙パルプ技術協会

(〒104-8139 東京都中央区銀座 3-9-11 紙パルプ会館 TEL 03-3248-4841)

一般財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：紙・パルプ技術専門委員会 (委員長 岡山 隆之)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 原理	2
5 器具及び水	2
6 試料の調製	2
7 操作	3
8 試験結果の表し方	3
9 報告書	4
附属書 A (規定) カナダ標準ろ水度試験器	5
附属書 B (規定) カナダ標準ろ水度試験器の保守	11
附属書 C (参考) 濃度 0.30 %へのろ水度補正表	12
附属書 D (参考) 温度 20 °Cへのろ水度補正表	13
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	15
解 説	17

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、紙パルプ技術協会（JAPAN TAPPI）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

これによって、**JIS P 8121:1995** は廃止され、その一部を分割して制定したこの規格に置き換えられた。この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

**JIS P 8121** の規格群には、次に示す部編成がある。

**JIS P 8121-1** 第 1 部：ショッパー・リーグラ法

**JIS P 8121-2** 第 2 部：カナダ標準ろ水度法

# パルプ—ろ水度試験方法— 第 2 部：カナダ標準ろ水度法

## Pulps—Determination of drainability— Part 2:“Canadian Standard” freeness method

### 序文

この規格は、2001 年に第 2 版として発行された **ISO 5267-2** を基とし、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

### 1 適用範囲

この規格は、パルプ水懸濁液のろ水度をミリリットル (mL) で表すカナダ標準ろ水度法について規定する。原理的には、この方法は全てのパルプ水懸濁液に適用できる。

**注記 1** 微細繊維の比率を高くする処理を行った場合は、異常に高いろ水度を示すことがある。ろ水度 100 mL 未満では、通常このような現象が見られる。

**注記 2** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

**ISO 5267-2:2001**, Pulps—Determination of drainability—Part 2: “Canadian Standard” freeness method (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS P 8222** パルプ—試験用手すき紙の調製方法

**注記** 対応国際規格：**ISO 5269-1**, Pulps—Preparation of laboratory sheets for physical testing—Part 1:Conventional sheet-former method (MOD)

**JIS P 8225** パルプ—紙料の固形分濃度測定方法

**注記** 対応国際規格：**ISO 4119**, Pulps—Determination of stock concentration (MOD)

**ISO 14487**, Pulps—Standard water for physical testing

### 3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。